



ぐるり庄原 カメラ レポート



暮らしを守る除雪作業に感謝

建設業者の皆さんがボランティア作業

年末年始の豪雪は、家の周りに雪の壁ができたり、生活道などの狭い道は雪でふさがれたり、私たちの日常生活に大きな影響を及ぼしました。中でも、除雪作業が困難なお年寄りや一人暮らしの方の住まいには、深刻な影響がありました。

このような状況に対し、1月12日から15日までの間、建設業者の20の方が、ボランティアによる除雪作業をされました。作業は、小型除雪機やスコップを用いて、民家周辺や生活道などを中心に実施。懸命な作業に対し、住民からは感謝の言葉が贈られていました。

また、このボランティアに対して市からは感謝状が送られ、滝口市長は感謝の気持ちを伝えました。



小型除雪機などで生活道を除雪(東城地域)

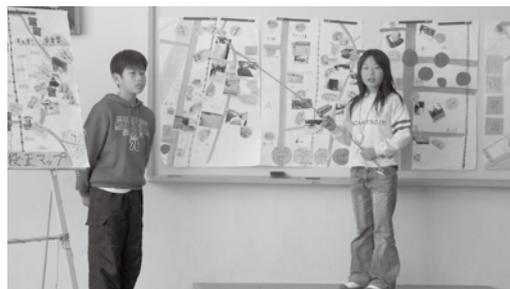


安全な毎日を過ごそう

高小学校で安全教室

110番の日である1月10日(火)、高小学校で安全教室が開催され、全校児童58人が参加しました。はじめに、児童が作成した「地域安全マップ」をもとに、高地区内の危険箇所などを紹介。「歩道が狭く、ガードレールがない所は心配」「トンネルは、入ってしまうと見えにくいし、薄暗いので危険」など、自分たちで調べた内容を発表しました。その後は、高駐在所の森保芳樹さんと、県警本部の110番担当者2人から、不審者への対応と110番の正しいかけ方の指導。実際に通報訓練を体験した児童は、「万一のときに、落ち着いて110番できるかどうか不安だけど、今日は落ち着いてできました」と感想を話してくれました。

落ち着いて110番通報ができたかな



マップを使って、危険箇所を詳しく説明



インターネットで農産物を直売

ECサイト「こうぼ農園」オープン

高春自治振興区では、庄原市自治振興区活動促進補助金を活用し、インターネットで農産物を直売するホームページ「こうぼ農園」を、1月22日(日)に開設しました。

このサイトは、各世帯が店舗を持つオンラインショッピングモール方式で運営され、今回は13世帯が出店し、こだわり米や野草茶など19品目を発売。それぞれの商品には、農産物の育った環境や栽培方法、生産者の情報が写真付きで紹介され、消費者が安心して購入できるよう工夫されています。

開設当日は、関係者がしし鍋でオープンを祝い、「期待と不安が交錯しているが、このサイトを新たなビジネスチャンスとして、地域を活性化させたい」と話していました。

ぜひアクセスしてみてください



■サイトアドレス
http://kobomura.com/kobonoen/



雪を楽しもう

小学生がスキー教室

1月26日(木)、比和町内のスキー場で、比和小学校と森脇小学校の児童が合同でスキー教室を開催しました。このスキー教室は、毎年地元のスキー場で行われる、降雪量の多い地域ならではの野外授業です。

当日は天候にも恵まれ、約40人の児童らがインストラクターの指導のもとスキーに挑戦。スキー教室以外ではスキーに行かないという児童も少なくないようで、この日を待っていた児童たちは笑顔でスキーを楽しみました。

比和小学校の三上先生は、「雪が降りスキーができる地域ならではのこの授業を、子どもたちに楽しんでもらいたい」と話されていました。



上手に滑る事ができましたか



滑り方を熱心に聞く児童



公開に向け着々と準備

節分草「花守り」養成講座

1月22日(日)、節分草の公開期間に自生地を案内するボランティアガイドの養成講座が開催されました。

当日は、NPO法人節分草保存会の会員による節分草の生態に関する説明、また講師による総領町の山野草などについての解説があり、参加者は皆熱心に耳を傾け、メモを取る姿も見られました。

節分草が咲くこのシーズンには、わずか1カ月間にもかかわらず、総領地域の人口の10倍を超える観光客が訪れます。この養成講座をはじめ、現在は公開に向けた準備が着々と進められています。

なお、2月18日(土)には「花守り」の講習をかねた現地観察会を開催します。花守り希望以外の方でも参加できますので、お気軽にご参加ください。



資料や標本を用いた詳しい説明に聞き入る参加者



地域をあげて大雪対策

平子自治振興会の除雪作業

平子自治振興会では、平成17年度、コミュニティ(宝くじ)助成事業を受けて小型除雪機を3台購入しました。地区内の山間地を中心に、生活道や民家周辺、集会所などを自分たちで除雪することを目的に購入し、12月初旬からの積雪で、現在は地域全体でフル稼働の状態。

自治振興会では、誰もが使用できるよう運転講習会を実施し、また管理規程や使用規程を設けるなど使いやすい方法を考えています。

また、一人暮らしの家や長期入院などで住人がいない空き家の除雪なども、地域内で対応しています。

自治振興会会長の主田重登さんは、「思いもよらない大雪で除雪機が大活躍している。とはいえ、台数が限られているので、それぞれが使いやすいシステムを考えていきたい」と話されました。



操作講習を受ける地域の皆さん



無病息災を願う伝統行事

町内各地でとんど

1月の恒例行事「とんど」が、東城町内の各地域で開催されました。

「とんど」は、小正月頃に正月のしめ縄や書初めなどを集めて燃やし、1年間の無病息災を願う行事で、「この火にあたると若返る」「餅を焼いて食べると病気をしない」などと言われていたそうです。



勢いよく燃え上がる炎

東城保育所では、1月11日(水)にとんど餅つきがおこなわれました。参加した園児は、高く積み上げられた門松やしめ縄などに点火されて大きな火柱が立つと、一斉に歓声を上げていました。その後は、「餅つき」でつくられたお餅を、雑煮や焼いて味わいました。



ま〜るいお餅のできあがり



初笑いで新年の厄払い

湯木釜峰振興会青年部の獅子舞

1月1日(日)の8時から、湯木釜峰振興会青年部が、恒例の獅子舞を舞いながら町内を練り歩きました。この獅子舞は、4年前に青年部が発案したもので、地域の方からのアドバイスをもとに、独自のリズムや振り付けなどの工夫を凝らしています。



伝統芸能の南京玉すだれを披露

当日は、くじに当たった3件の家と老人ホーム「ハートウイング」を訪問。獅子舞に加え、南京玉すだれやどじょうすくい、傘回しなどの芸を披露して一年の厄払いをし、訪問先では楽しい芸に笑い声が響いていました。



獅子舞を楽しむハートウイングの皆さん